

POWER THE OF PREDICTION

これが、未来を見通す視点。

Kristian
クリスチャン・ヒュー
Heugh

新POWER OF PREDICTION

新たな地殻変動を起こす企業とは。

いかなる時代でも揺るぎない企業とは。

すべては、未来を見通すために。



いまや、世界経済の成長は、
既存の価値を破壊し、世の中に新しい価値を創造する企業、
そして時代に左右されず豊かな社会づくりに貢献する企業とともにある。
不確かなはずの未来を読み、成長を読む。そんな不可能を可能にするため、
私たちはあらゆる国籍やバックグラウンドを持った人材とともに、
あらゆる視点から未来を考え続け、予測し尽くす。
未来を見通すための運用戦略を、そして、その戦略を実現し得る運用チームをその目でお確かめください。

※未来を予測できることを意味するものではありません。
※「未来の世界」シリーズの運用にあたっては、モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・インクに株式等の運用の指図に関する権限の一部を委託します。当資料における「運用戦略」は、同運用チームが「未来の世界」シリーズの運用に用いる「グローバル・オポチュニティ株式運用戦略」をはじめとした各運用戦略を指します。「未来の世界」シリーズの対象ファンドは、巻末をご覧ください。
※写真はイメージであり、すべてを表すものではありません。

INVESTMENT PHILOSOPHY

未来を見通すために、

本質を「見抜く」

3つの運用哲学

1

変化の時代をリードする

成長企業を

見抜く

2

時代の変化にも揺るがない

持続可能な成長企業を

見抜く

3

本質的価値に対し

過小評価されている企業を

見抜く

未来を見通すとは何か。

それは、次々とディスラプティブ・チェンジ*が

起こる時代にあって、

変化に強い企業とその正しい価値を見抜くこと。

その視点こそが、成長する未来への投資の確かな基礎となる。

*ディスラプティブ・チェンジとは、既存の価値を破壊し、新しい価値を創造する長期的で巨大な変化を指します。
※未来を予測できることを意味するものではありません。

その哲学は、不確かな未来を

確かに見抜く“目”となる。

1

変化の時代をリードする

成長企業を見抜く。

既存の価値を破壊し、新たな価値を創造する。
商品・サービスの価格に強い決定力をもつ。
他社に真似のできない技術やビジネスモデルを誇る。
そんな競争優位性をもつ企業に、投資価値を見出します。

2

時代の変化にも揺るがない

持続可能な成長企業を見抜く。

足元の技術などの進歩は著しい。
たとえディスラプティブ・チェンジ(=破壊的な変化)に
直面しても、持続可能なビジネスモデルか。
その変化を追い風にして、収益機会として捉えるか。
環境的視点でも、社会的視点でも成長の持続可能性を見極め、
価値の衰えることのないと判断した企業にも投資を行います。

3

本質的価値に対し

過小評価されている企業を見抜く。

「質の高い企業を割安な水準で買う。」というシンプルな運用哲学を徹底。
たとえどんなに大きな成長を見込めた場合でも、
運用チームが考える本質的価値(理論価格)よりも
割安でなければ投資を行いません。私たちにとって、
株価の下落はむしろ割安に購入するためのチャンスです。

Kristian Heugh

LEAD PORTFOLIO MANAGER

「市場のノイズは関係ない。
見極めた未来にどれだけ
長く投資するか。」

モルガン・スタンレー・
インベストメント・マネジメント
グローバル・オポチュニティ株式
運用チーム 運用責任者
マネージング・ディレクター
クリスチャン・ヒュー

・2001年、モルガン・スタンレー・
インベストメント・マネジメント入社。
20年の運用経験を有する。

・グローバル・オポチュニティ株式運用
チームの責任者、およびグロース投資に
おけるグローバル型投資の責任者を
務める。

・米デューク大学経済学部卒業。

・CFA協会認定証券アナリスト。

短期か長期か。答えは、
100年の歴史が証明している。

先行きが不透明な昨今、世界情勢が投資にどのような影響をもたらすかなどのご質問も多くいただいています。私たちの答えはいつも同じ。株式投資において重要なのはいつ買うべきかというタイミングだけではなく、どれだけ長い期間投資するか、です。過去100年を振り返ると、さまざまな自然災害や戦争、または貿易紛争など、数多くの障害があったにもかかわらず、株式市場は年間で約10%のリターンを創出してきました。つまり、投資家は、平均的に約7年間で投資元本を2倍にできた計算になります。私たちの仕事は、それ以上のリターンを出すこと。一方で、市場の混迷時には動揺して投資判断を誤りやすいのも事実です。だからこそ常に長期投資に対する信念を貫くことが大切だと考えています。

優れた投資アイデアは、
未来に通じる継続性がある。

当運用チームのスタンスはいつも一貫しており、市場動向に対して極端に強気になったり、弱気になったりすることはありません。運用チームは毎年同じこと、すなわち独自性の高いベストな銘柄を見つけて投資することを継続しています。優れた投資アイデアは未来に通じる継続性を有します。例えばインターネットはもう20年以上も私たちの身近にありますが、いまだに世の中に大きな影響を与え続けています。これらのアイデアが市場で相当程度まで浸透してくると、もはや成長を止めることが難しくなります。また、さまざまな角度から継続的に分析することで新しい投資アイデアが生まれ続けます。そのような分析によってディスラプティブ・チェンジの負け組企業を避け、勝ち組に投資することが可能になると考えています。

今の激動の市場環境に、
心躍る想い。

意外に思われるでしょうが、当運用チームはこの激動の市場環境を実に前向きに捉えています。投資家によっては市場の変動や混迷で焦って、優良銘柄を安く売ってしまう可能性があります。そのような時に投資機会が存在します。世界中を見渡せば、中国において醤油の製造でトップシェアの食品会社や、中国の教育サービス会社、さらにはインドの民間銀行大手、高級ブランド・メーカー、インターネット関連企業など、多種多様な魅力ある企業を見つけることが可能となります。私たちがポートフォリオに組み入れるこれらの企業は、競合他社には簡単に真似できないビジネスモデルを有し、差別化できるすばらしくてユニークな企業たち。また投資時点での株価水準が理論価格を大きく下回って割安と判断していることも共通しています。そのような企業に投資をしている運用戦略の成長機会に、私たち運用チームは心躍る想いでいます。

INVESTMENT MANAGEMENT TEAM

運用チーム
メンバーのご紹介

※運用チームの責任者であるクリスチャン・ヒューについては、p7をご覧ください。

Wendy Wang, CFA
ファンド・マネジャー兼アナリスト
マネージング・ディレクター

2012年にモルガン・スタンレー入社、13年の運用経験を有する。入社以前は、CLSA(独立系投資銀行)およびユアンダ証券(台湾系証券会社)にて消費者、再生可能エネルギー・セクターのリサーチ・アソシエイトを務める。それ以前は、マッキンゼー・アンド・カンパニーにてコーポレート・ファイナンスのアナリストを務める。CFA協会認定証券アナリスト。



Anil Agarwal, CFA
ファンド・マネジャー兼アナリスト
マネージング・ディレクター

2001年にモルガン・スタンレー入社、20年の運用経験を有する。2020年、ファンド・マネジャー兼アナリストとしてグローバル・オポチュニティ株式運用チームに参加。それ以前は、リサーチ部門でアジア・ファイナンシャル・リサーチの責任者を務め、日本を除くアジア太平洋地域の銀行を管轄。主担当アナリストとして、インドと香港の銀行を担当。CFA協会認定証券アナリスト。



Marc Fox
ポートフォリオ・スペシャリスト
マネージング・ディレクター

2016年にモルガン・スタンレー入社、16年の運用経験を有する。入社以前は、独立調査アドバイザー会社である「スノーフォックス LLC」を設立し、独立非営利団体であるCDP(企業の環境インパクトに関する情報開示を支援する独立系非営利団体)に対して投資家インシティブに関する助言を行う。それ以前は、ゴールドマン・サックスのグローバル投資調査部門でヴァイス・プレジデントとして勤務。



Alastair Pang
ファンド・マネジャー兼アナリスト
エグゼクティブ・ディレクター

2016年にモルガン・スタンレー入社、13年の運用経験を有する。それ以前は、個人運用会社のLegatumで投資アナリストとして勤務し、中国のプライベート・エクイティ会社であるテムズ・インベストメント・パートナーズでヴァイス・プレジデントを、さらに以前はロスチャイルドでM&A部門のアソシエイトとして勤務。



Jeremy Wu, CFA
ファンド・マネジャー兼アナリスト
ヴァイス・プレジデント

2019年にモルガン・スタンレー再入社、10年の運用経験を有する。再入社以前はOpus Capital Managementにてグローバル株式ファンドのポートフォリオ・マネジャーを務める。それ以前はCCB International Asset Managementのヴァイス・プレジデントとして勤務。さらに以前はモルガン・スタンレーのグローバル・キャピタル・マーケット部門にてアソシエイトとして勤務。CFA協会認定証券アナリスト。



AI or HUMAN?

国籍、性別だけでなく専門分野も異なる多様性のあるプロフェッショナルが集まったチーム。リサーチ・スクリーニング等を担う同部門の人員150人以上と人的ネットワークを構築し、経営者から研究者まで、得意とするフィールドの異なるメンバーがアイデアを膨らませ、ディスカッションを繰り返し続けるからこそ、AIでは予測ができない“不確かなはずの未来”が見えてくると私たちは考えています。

1/1000

未来はどんな世界となり、その未来をリードするディスラプティブ・チェンジは、企業は、分野は何か。運用チームの責任者であり世界有数の実績を残してきたクリスチャン・ヒューと討論を繰り返しながら、彼と異なるベストアイデアを持つ人のみを採用。ただ優秀なだけではない、独自の視点を持った精鋭で構成されています。

※1/1000は、運用チームメンバーの募集にあたっての採用者数/応募者数の比率を表しています。(2018年の実績)

※当ページの情報は2021年2月末時点のものです。※モルガン・スタンレーはモルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメントを指します。

「誰一人、同じ視点はいない。」 ハイクオリティ成長企業を見抜く ダイバーシティなチーム編成。

Hong Fan, CFA
ファンド・マネジャー兼アナリスト
シニア・アソシエイト

2018年にモルガン・スタンレー入社、6年の運用経験を有する。入社以前は、インベスコのマルチ・アセット・ソリューションズ・チームのマネジメント・アソシエイトとして勤務。それ以前は、国際連合世界食糧計画のストラテジー・コンサルタントとして、またボストン・コンサルティング・グループの日本法人のテクノロジー、メディア、電気通信サービス、ヘルスケア業界のコーポレート・ファイナンス・アナリストとして勤務。CFA協会認定証券アナリスト。



Crystal Chan
ファンド・マネジャー兼アナリスト
アナリスト

2020年にモルガン・スタンレー入社、3年の運用経験を有する。入社以前は、Prudence Investment ManagementにてIRアソシエイトとして勤務。オックスフォード大学にて化学の修士号を取得。



Emily Tsui, CFA
ポートフォリオ・スペシャリスト
ヴァイス・プレジデント

2018年にモルガン・スタンレー入社、7年の運用経験を有する。入社以前は、クレディ・スイスにてHOLT(同社の企業価値評価システム)部門の株式リサーチ・アナリスト(消費財および資本財セクター担当)を務める。それ以前は、スタンダード・チャータードにて公益および再生可能エネルギー・セクターのリサーチ・アソシエイトを務める。CFA協会認定証券アナリスト。



Shunzo Tatsumi
ポートフォリオ・スペシャリスト
エグゼクティブ・ディレクター

1991年にモルガン・スタンレー入社、34年の運用経験を有する。入社以前は、ポートフォリオ・スペシャリストとして日本におけるアクティブ運用のグローバル株式運用戦略を管轄、日本の機関投資家に対しグローバル株式ポートフォリオの構築について助言を行う。それ以前は、NYのコーエン・アンド・カンパニー、ドレクセル・バーナム、E.F.ハットンにて外国株式のセールスを担当。日本証券アナリスト協会認定アナリスト(CMA)。



Anni Li
ポートフォリオ・スペシャリスト
アナリスト

2020年にモルガン・スタンレー入社、3年の運用経験を有する。入社以前は、シティグループにてグローバル・マーケット・アナリストとして勤務。香港科学技術大学にて金融工学の修士号を取得。



Reto Ammann
ポートフォリオ・スペシャリスト
アナリスト

2020年にモルガン・スタンレー入社、2年の運用経験を有する。それ以前は、スウェーデンのシンドラー・グループ(スイスの昇降機メーカー)にてビジネス・コントローラとして財務と業務レポートを担当。スウェーデンのストックホルム王立工科大学で機械工学の修士号を取得、スイスのルツェルン応用科学芸術大学で経営管理の博士号を取得。



未来の成長を、 ともに創造するこれからの投資へ。 さあ、あなたも。

「未来の世界」シリーズが考える投資。それは、短期的な利益を追い求めるのではなく、長期的な視点に立ち、持続的な成長を生み出す未来に投資することにあります。

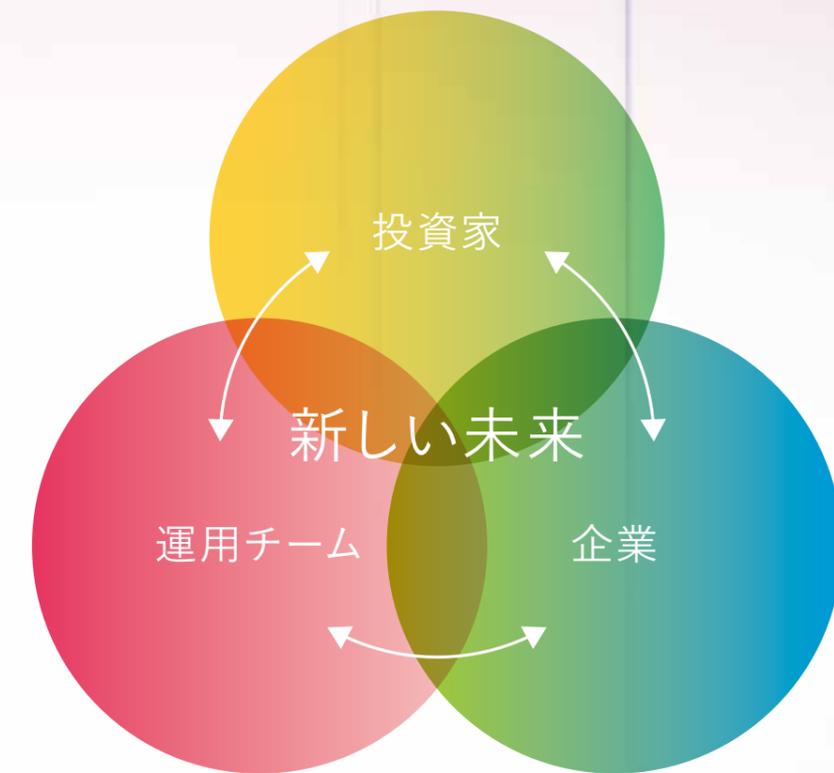
投資家と運用チーム、そして企業が一体となり、経営陣と対話を行うことで、より良い成長を促す。

3者が真のパートナーとなることで、利益を最大化し、新しい未来を生み出していきます。

ともに未来を変え、世界を変えるパートナーの一員として。

ぜひ「未来の世界」シリーズをご検討いただければ幸いです。

「未来の世界」シリーズの考える投資



ファンドの投資リスク

各ファンドは、値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)に投資しますので、ファンドの基準価額は変動します。これらの運用による損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託は預貯金と異なります。

基準価額の変動要因

株価変動リスク	未来の世界 未来の世界(年2回決算型) 未来の世界(予想分配金提示型) ファンドは、実質的に株式に投資をしますので、株式市場の変動により基準価額が上下します。
	未来の世界(新興国) 株式の価格は、国内外の政治・経済・社会情勢の変化、発行企業の業績・経営状況の変化、市場の需給関係等の影響を受け変動します。株式市場や当ファンドが投資する企業の株価が下落した場合には、その影響を受け基準価額が下落する要因となります。当ファンドが主要投資対象とする新興国企業の株式は、一般に先進国株式と比べ株価変動が大きい傾向があります。このため、基準価額が大きく下落する場合があります。また、当ファンドは個別銘柄の選択による投資を行うため、株式市場全体の動向から乖離することがあり、株式市場が上昇する場合でも基準価額は下落する場合があります。

業種および個別銘柄選択リスク	未来の世界 未来の世界(年2回決算型) 未来の世界(予想分配金提示型) ファンドは、実質的に業種および個別銘柄の選択による投資を行いますので、株式市場全体の動向から乖離することがあり、株式市場が上昇する場合でもファンドの基準価額は下がる場合があります。
----------------	--

為替変動リスク	未来の世界(限定為替ヘッジ) 未来の世界(年2回決算型)(限定為替ヘッジ) 未来の世界(予想分配金提示型)(限定為替ヘッジ) ファンドは、実質組入外貨建資産については原則として対円で為替ヘッジを行い為替リスクの低減をめざしますが、為替リスクを完全に排除できるものではなく為替相場の影響を受ける場合があります。また、為替ヘッジには円金利がヘッジ対象通貨の金利よりも低い場合、その金利差相当分程度のコストがかかることにご留意ください。なお、実質組入通貨の直接ヘッジのほか、一部の新興国通貨については米ドルを用いた代替ヘッジを行います。その場合、通貨間の値動きが異なる場合が想定されますので、十分な為替ヘッジ効果が得られない可能性や、米ドルと一部の新興国通貨との為替変動の影響を受ける可能性があります。また、為替ヘッジには円金利が米ドルの金利よりも低い場合、その金利差相当分程度のコストがかかることにご留意ください。
---------	---

為替変動リスク	未来の世界(為替ヘッジなし) 未来の世界(年2回決算型)(為替ヘッジなし) 未来の世界(予想分配金提示型)(為替ヘッジなし) ファンドは、実質組入外貨建資産について原則として対円で為替ヘッジを行わないため為替変動の影響を受けます。このため為替相場が当該実質組入資産の通貨に対して円高になった場合には基準価額が下がる要因となります。
	未来の世界(新興国) 為替相場は、各国の政治情勢、経済状況等のさまざまな要因により変動し、外貨建資産の円換算価格に影響をおよぼします。当ファンドは、組入外貨建資産について原則として為替ヘッジを行わないため為替変動の影響を受けます。このため、為替相場が当該組入資産の通貨に対して円高になった場合には、保有外貨建資産が現地通貨ベースで値上がりした場合でも基準価額が下落する可能性があります。

為替変動リスク	未来の世界(先進国)(為替ヘッジあり) 為替相場は、各国の政治情勢、経済状況等のさまざまな要因により変動し、外貨建資産の円換算価格に影響をおよぼします。当ファンドは、実質組入外貨建資産について原則として対円で為替ヘッジを行い為替リスクの低減をめざしますが、為替リスクを完全に排除できるものではなく為替相場の影響を受ける場合があります。また、為替ヘッジには、円金利がヘッジ対象通貨の金利よりも低い場合、その金利差相当分程度のコストがかかることにご留意ください。
---------	---

為替変動リスク	未来の世界(先進国)(為替ヘッジなし) 未来の世界(ESG) 為替相場は、各国の政治情勢、経済状況等のさまざまな要因により変動し、外貨建資産の円換算価格に影響をおよぼします。各ファンドは、実質組入外貨建資産について原則として為替ヘッジを行わないため為替変動の影響を受けます。このため為替相場が当該実質組入資産の通貨に対して円高になった場合には、実質保有外貨建資産が現地通貨ベースで値上がりした場合でも基準価額が下落する可能性があります。
---------	---

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

カントリーリスク	未来の世界 未来の世界(年2回決算型) 未来の世界(予想分配金提示型) ファンドの実質的な投資対象国・地域における政治・経済情勢の変化等によっては、運用上の制約を受ける可能性があり、基準価額が下がる要因となります。
	未来の世界(新興国) 投資対象国・地域の政治経済情勢、通貨規制、資本規制、税制、また、取引規制等の要因によって資産価格や通貨価値が大きく変動する場合があります。海外に投資する場合には、これらの影響を受け、基準価額が下落する要因となる場合があります。当ファンドが主として投資を行う株式や通貨の発行者が属する新興国の経済状況は、先進国経済と比較して一般的に脆弱である可能性があります。そのため、当該国のインフレ、国際収支、外貨準備高等の悪化等が株式市場や為替市場におよぼす影響は、先進国以上に大きくなると予想されます。さらに、政府当局による海外からの投資規制や課徴的な税制、海外への送金規制等の種々の規制の導入や政策の変更等の要因も株式市場や為替市場に著しい影響をおよぼす可能性があります。

カントリーリスク	未来の世界(先進国) 投資対象国・地域の政治経済情勢、通貨規制、資本規制、税制、また、取引規制等の要因によって資産価格や通貨価値が大きく変動する場合があります。海外に投資する場合には、これらの影響を受け、基準価額が下落する要因となる場合があります。
----------	--

カントリーリスク	未来の世界(ESG) 投資対象国・地域の政治経済情勢、通貨規制、資本規制、税制、また、取引規制等の要因によって資産価格や通貨価値が大きく変動する場合があります。海外に投資する場合には、これらの影響を受け、基準価額が下落する要因となる場合があります。当ファンドは実質的に新興国の株式にも投資を行う場合があります。新興国の経済状況は、先進国経済と比較して一般的に脆弱である可能性があります。そのため、当該国のインフレ、国際収支、外貨準備高等の悪化等が株式市場や為替市場におよぼす影響は、先進国以上に大きいものになることが予想されます。さらに、政府当局による海外からの投資規制や課徴的な税制、海外への送金規制等の種々の規制の導入や政策の変更等の要因も株式市場や為替市場に著しい影響をおよぼす可能性があります。
----------	---

流動性リスク	未来の世界 未来の世界(年2回決算型) 未来の世界(予想分配金提示型) ファンドにおいて有価証券等を実質的に売却または取得する際に、市場規模、取引量、取引規制等により十分な流動性のもとでの取引を行えない場合には、市場実勢から期待できる価格どおりに取引できないことや、値動きが大きくなることがあり、基準価額に影響をおよぼす可能性があります。
--------	---

流動性リスク	未来の世界(新興国) 有価証券等を売却または取得する際に市場規模や取引量、取引規制等により、その取引価格が影響を受ける場合があります。一般に市場規模が小さい場合や取引量が少ない場合には、市場実勢から期待できる価格どおりに取引できないことや、値動きが大きくなることがあり、基準価額に影響をおよぼす要因となります。新興国の株式に投資する場合、先進国の株式と比べ流動性リスクが大きくなる傾向があります。
--------	--

流動性リスク	未来の世界(先進国) 未来の世界(ESG) 有価証券等を売却または取得する際に市場規模や取引量、取引規制等により、その取引価格が影響を受ける場合があります。一般に市場規模が小さい場合や取引量が少ない場合には、市場実勢から期待できる価格どおりに取引できないことや、値動きが大きくなることがあり、基準価額に影響をおよぼす要因となります。
--------	---

流動性リスク	未来の世界 未来の世界(年2回決算型) 未来の世界(予想分配金提示型) ファンドが実質的に投資する株式の発行者が経営不安・倒産に陥った場合、またこうした状況に陥ると予想される場合等には、株式の価格が下落したりその価値がなくなることがあり、基準価額が下がる要因となります。
--------	---

信用リスク	未来の世界(新興国) 有価証券等の価格は、その発行者に債務不履行等が発生または予想される場合には、その影響を受け変動します。当ファンドが投資する株式の発行者が経営不安・倒産に陥った場合、また、こうした状況に陥ると予想される場合、信用格付けが格下げされた場合等には、株式の価格が下落したり、その価値がなくなることがあり、基準価額が下落する要因となります。
-------	--

信用リスク	未来の世界(先進国) 未来の世界(ESG) 有価証券等の価格は、その発行者に債務不履行等が発生または予想される場合には、その影響を受け変動します。各ファンドが実質的に投資する株式の発行者が経営不安・倒産に陥った場合、また、こうした状況に陥ると予想される場合、信用格付けが格下げされた場合等には、株式の価格が下落したり、その価値がなくなることがあり、基準価額が下落する要因となります。
-------	--

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

お客さまにご負担いただく手数料等について

詳細については、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

ご購入時	ご購入手数料	購入価額に、 3.3%(税抜3.0%) を上限として、販売会社が定める手数料率を乗じて得た額となります。購入時手数料は、商品や投資環境の説明および情報提供等、ならびに購入に関する事務手続き等にかかる費用の対価として、販売会社に支払われます。 ※くわしくは販売会社にお問い合わせください。																
	スイッチング手数料	ありません。 ※スイッチングの際には、換金時と同様の費用、税金がかかります。また、スイッチング対象ファンドは販売会社によって異なります。くわしくは販売会社にお問い合わせください。																
ご換金時	換金時手数料	ありません。																
	信託財産留保額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額に 0.3% の率を乗じて得た額とします。																
保有期間中 (信託財産から間接的に ご負担いただきます。)	運用管理費用 (信託報酬)	<p>未来の世界 未来の世界(年2回決算型) 未来の世界(予想分配金提示型) 未来の世界(新興国) 未来の世界(先進国) 各ファンドの日々の純資産総額に対して年率1.87%(税抜1.70%)*1</p> <p>未来の世界(ESG) ファンドの日々の純資産総額に対して年率1.848%(税抜1.68%)*2</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>支払先</th> <th>*1 内訳(税抜)</th> <th>*2 内訳(税抜)</th> <th>主な役務</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託会社</td> <td>年率1.05%</td> <td>年率1.00%</td> <td>信託財産の運用、目論見書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価</td> </tr> <tr> <td>販売会社</td> <td>年率0.60%</td> <td>年率0.65%</td> <td>購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価</td> </tr> <tr> <td>受託会社</td> <td>年率0.05%</td> <td>年率0.03%</td> <td>運用財産の保管・管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価</td> </tr> </tbody> </table> <p>未来の世界 未来の世界(年2回決算型) 未来の世界(予想分配金提示型) 委託会社の信託報酬には、グローバル・ハイクオリティ成長株式マザーファンドの株式等の運用の指図に関する権限の一部委託(運用の再委託)を受けた投資顧問会社(モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・インク)に対する報酬(各ファンドの信託財産に属する当該マザーファンドの純資産総額に対して年率0.65%)が含まれています。なお、当該投資顧問会社に対する報酬には、モルガン・スタンレー・アジア・リミテッドおよびモルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・カンパニーに対する報酬が含まれます。</p> <p>未来の世界(新興国) 委託会社の信託報酬には、当ファンドの株式等の運用の指図に関する権限の委託を受けた投資顧問会社(モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・インク)に対する報酬(当ファンドの信託財産の純資産総額に対して年率0.65%)が含まれます。なお、当該投資顧問会社に対する報酬には、モルガン・スタンレー・アジア・リミテッドおよびモルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・カンパニーに対する報酬が含まれます。</p> <p>未来の世界(先進国) 委託会社の信託報酬には、先進国ハイクオリティ成長株式マザーファンドの株式等の運用の指図に関する権限の委託を受けた投資顧問会社(モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・インク)に対する報酬(各ファンドの信託財産に属する当該マザーファンドの純資産総額に対して年率0.65%)が含まれます。なお、当該投資顧問会社に対する報酬には、モルガン・スタンレー・アジア・リミテッドおよびモルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・カンパニーに対する報酬が含まれます。</p> <p>未来の世界(ESG) 委託会社の信託報酬には、グローバルESGハイクオリティ成長株式マザーファンドの株式等の運用の指図に関する権限の委託を受けた投資顧問会社(モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・インク)に対する報酬(当ファンドの信託財産に属する当該マザーファンドの純資産総額に対して年率0.65%)が含まれます。なお、当該投資顧問会社に対する報酬には、モルガン・スタンレー・アジア・リミテッドおよびモルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・カンパニーに対する報酬が含まれます。</p>	支払先	*1 内訳(税抜)	*2 内訳(税抜)	主な役務	委託会社	年率1.05%	年率1.00%	信託財産の運用、目論見書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価	販売会社	年率0.60%	年率0.65%	購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価	受託会社	年率0.05%	年率0.03%	運用財産の保管・管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
	支払先	*1 内訳(税抜)	*2 内訳(税抜)	主な役務														
委託会社	年率1.05%	年率1.00%	信託財産の運用、目論見書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価															
販売会社	年率0.60%	年率0.65%	購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価															
受託会社	年率0.05%	年率0.03%	運用財産の保管・管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価															
その他の費用・手数料	組入る有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、信託事務の諸費用、外国での資産の保管等に要する費用、監査費用等が信託財産から支払われます。 ※その他の費用・手数料については、定期的に見直されるものや売買条件等により異なるものがあるため、事前に料率、上限額等を表示することができません。																	

※上記手数料等の合計額等については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となる場合があります。

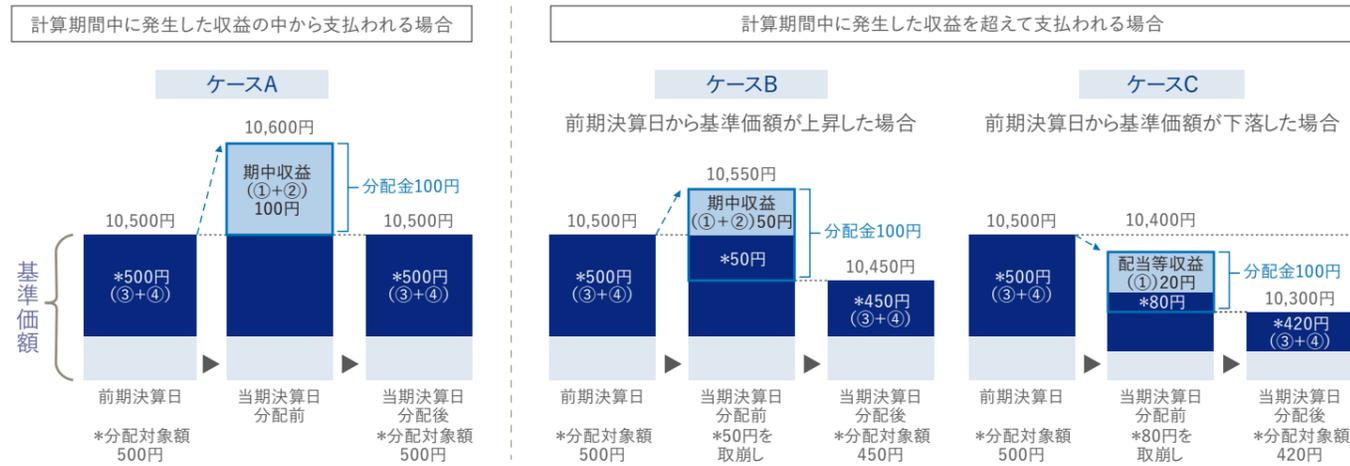
収益分配金に関する留意事項

- 投資信託の分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。なお、分配金の有無や金額は確定したものではありません。

投資信託から分配金が支払われるイメージ

- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

分配金額と基準価額の関係(イメージ)

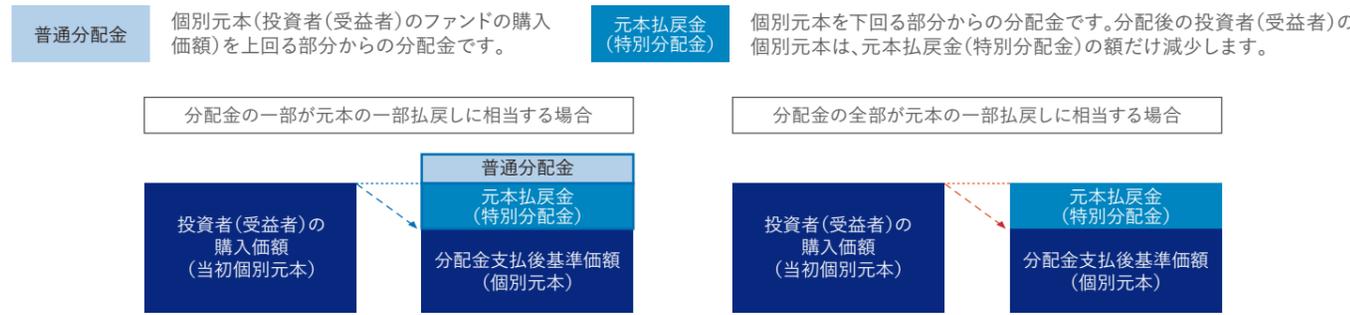


上記のそれぞれのケースにおいて、前期決算日から当期決算日まで保有した場合の損益を見ると、次の通りとなります。

ケースA: 分配金受取額100円+当期決算日と前期決算日との基準価額の差 0円 = 100円	◆分配金は、分配方針に基づき、以下の分配対象額から支払われます。 ①配当等収益(経費控除後) ②有価証券売買益・評価益(経費控除後) ③分配準備積立金 ④収益調整金
ケースB: 分配金受取額100円+当期決算日と前期決算日との基準価額の差 ▲50円 = 50円	
ケースC: 分配金受取額100円+当期決算日と前期決算日との基準価額の差 ▲200円 = ▲100円	

★A、B、Cのケースにおいては、分配金受取額はすべて同額ですが、基準価額の増減により、投資信託の損益状況はそれぞれ異なった結果となっています。このように、投資信託の収益については、分配金だけに注目するのではなく、「分配金の受取額」と「投資信託の基準価額の増減額」の合計額でご判断ください。
※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではないのでご注意ください。

●投資者(受益者)のファンドの購入価額によっては、分配金の一部ないし全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。



※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は、非課税扱いとなります。
(注)普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)をご確認ください。

未来の世界シリーズ

グローバル・ハイクオリティ成長株式ファンド

(限定為替ヘッジ/為替ヘッジなし)

愛称:未来の世界

追加型投信/内外/株式

グローバル・ハイクオリティ成長株式ファンド(年2回決算型)

(限定為替ヘッジ/為替ヘッジなし)

愛称:未来の世界(年2回決算型)

追加型投信/内外/株式

グローバル・ハイクオリティ成長株式ファンド(予想分配金提示型)

(限定為替ヘッジ/為替ヘッジなし)

愛称:未来の世界(予想分配金提示型)

追加型投信/内外/株式

新興国ハイクオリティ成長株式ファンド

愛称:未来の世界(新興国)

追加型投信/内外/株式

先進国ハイクオリティ成長株式ファンド

(為替ヘッジあり/為替ヘッジなし)

愛称:未来の世界(先進国)

追加型投信/内外/株式

グローバルESGハイクオリティ成長株式ファンド

(為替ヘッジなし)

愛称:未来の世界(ESG)

追加型投信/内外/株式

※販売会社によって取扱ファンドが異なります。くわしくは販売会社にお問い合わせください。

お申込みにあたっては、販売会社からお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください。

■ 投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

MIZUHO みずほ証券

商号等:みずほ証券株式会社
金融商品取引業者
関東財務局長(金商)第94号

加入協会:日本証券業協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人金融先物取引業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

MIZUHO みずほ銀行

商号等:株式会社みずほ銀行
登録金融機関
関東財務局長(登金)第6号

加入協会:日本証券業協会
一般社団法人金融先物取引業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

MIZUHO みずほ信託銀行

商号等:みずほ信託銀行株式会社
登録金融機関
関東財務局長(登金)第34号

加入協会:日本証券業協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人金融先物取引業協会